

エイの刺傷事故に注意!!

エイによる刺傷事故

今年9月、エイによる刺傷事故が2件発生しました。
四管区内では、昨年も同様の事故が4件発生しています。

【事故事例】

9月4日、事故者は、蒲郡市三谷海岸付近の陸岸から約50メートル、水深約1メートルの海域で裸足の状態で清掃作業中、エイに左足を刺されて患部が腫れ上がり、医師に全治約1週間と診断されました。

エイの特徴



- 尾部の背びれ側にノコギリ状の鋭い毒トゲがある。

→刺されると深い傷と激しい痛みが長時間続く
→傷口周辺は、赤紫色に腫上がり水泡を生じる

- エイは浅瀬からやや深いところの砂浜で砂に隠れていることが多い

→気づきにくい!!



砂に埋まっているエイを踏みつけて刺される事故が多く発生!!

事故を防止するために

- 足部をブーツ、ウエットスーツ等で保護する。
→裸足やビーチサンダルは刺されるおそれがあります。
- 浅瀬の砂浜を歩くときはすり足で歩く。
→すり足で歩くとエイは大抵逃げると言われています。

【エイに刺されてしまったときは…】

1. すぐに冷水で患部を洗浄
2. 刺さった毒トゲを注意深く取り除く
3. 傷口の周囲を40～45℃のお湯で60～90分程度浸す
4. できるだけ早く病院で手当てを受ける



LINK



第四管区海上保安本部
4th Regional Coast Guard Headquarters

海の安全情報メール配信サービス →
(空メールを送信して登録して下さい)

海の安全情報メール
登録無料受付中



海の安全情報スマートフォン用サイト →
(こちらから登録して下さい)



沿岸域情報提供システム
MICS 海上保安庁

